

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●高野友和調教師と天間昭一調教師がJRA通算100勝を達成

8月15日(土)の2回新潟5日・第5レースではレブランシュが1着となり、同馬を管理する高野友和調教師(栗東)はJRA通算100勝(1138戦目)を達成しました。翌16日(日)の2回新潟6日・第10レースとしておこなわれた豊栄特別ではクリノタカラチャンが1着となり、同馬を管理する天間昭一調教師(美浦)もJRA通算100勝(2145戦目)を達成しました。高野調教師が現役149人目、天間調教師が150人目のJRA通算100勝達成となります。

●カポーティスター、ゲシュタルトが競走馬登録抹消

2013年日経新春杯(GⅡ)勝ち馬カポーティスター(牡6歳/栗東・矢作芳人厩舎)は、8月17日(月)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は15戦4勝で、今後は福岡県福岡市の福岡馬事公苑で乗馬となる予定です。2010年京都新聞杯(GⅡ)勝ち馬ゲシュタルト(牡8歳/栗東・長浜博之厩舎)は、8月20日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は44戦2勝で、今後は地方・名古屋競馬に移籍する予定です。

●タガノグランパが故障

2014年中日スポーツ賞ファルコンS(GⅢ)勝ち馬タガノグランパ(牡4歳/栗東・松田博資厩舎)は、右前浅屈腱炎を発症していることが判明しました。今後9か月以上の休養を要する見込みです。

●ワールドオールスタージョッキーズの出場騎手決定

8月29日(土)と30日(日)、札幌競馬場でおこなわれる「2015ワールドオールスタージョッキーズ(WASJ)」の出場騎手14名が決定しました。JRAからは戸崎圭太騎手、蛭名正義騎手、柴山雄一騎手、ミルコ・デムーロ騎手、福永祐一騎手、岩田康誠騎手、武豊騎手、地方競馬からは岩橋勇二騎手(北海道・田中淳司厩舎)と藤田弘治騎手(金沢・黒木豊厩舎)、海外からはラッセル・ベイズ騎手(アメリカ)、ティエリ・ジャルネ騎手(フランス)、ヘイリー・ターナー騎手(イギリス)、クレイグ・ウィリアムズ騎手(オーストラリア)、ジョン・モレイラ騎手(香港)が出場します。

●松若風馬騎手が「2015アジアヤングガンズチャレンジ」に出場

8月29日(土)、韓国・ソウル競馬場にて実施される「2015アジアヤングガンズチャレンジ」に松若風馬騎手(栗東・音無秀孝厩舎)が出場することとなりました。同シリーズにはアジア、オセアニア、南アフリカから計11名の見習騎手が参加し、4レースの合計獲得ポイントによって成績を競います。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●タガノトネールがサマーチャンピオン(佐賀)で重賞初制覇

サマーチャンピオン(JpnⅢ、8月18日、佐賀、1400m)は、4~5番手追走から4コーナーで内を突いて先頭に立った単勝1.9倍で断然人気のタガノトネール(川田将雅騎手、騾5歳、父ケイムホーム)が、タガノジンガロ(兵庫)に2馬身半差を付けて完勝。3番人気のレーザーバレットが3着、キョウエイアシュラは4着、逃げた2番人気のシゲルカガは7着に沈んでいます。

●霧島賞(佐賀)はJRAの鹿児島産馬カシノランナウェイ

九州産馬限定の霧島賞(3歳以上、8月18日、佐賀、1400m)は、JRA所属馬は1000万円以下)は、中国から追い上げた2番人気のカシノランナウェイ(大下智騎手、騾5歳、父マーベラスサンデー)が、1番人気の昨年の覇者ティエムゲッタドンを直線半ばで差し切って優勝しました。

●フルールC(門別)はモダンウーマン、各地の主要2歳重賞

フルールC(8月13日、門別、1000m、牝馬)は、4番手から直線に入って間もなく抜け出した栄冠賞2着馬モダンウーマン(父サウスヴィグラス)が4馬身差の楽勝を収めています。

●浦和のサトノタイガーがキーンランドCに登録

キーンランドC(GⅢ、8月30日、札幌、2着以内でスプリンターズSの出走資格獲得)に、サトノタイガー(浦和)が登録しました。JRA在籍時の芝での5勝はいずれも1600m以上で、芝の短距離戦への適応が課題となりそうです。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●英インターナショナルSは大波乱~ゴールデンホーンは2着

世界のG1トップ100(過去3年の1~4着馬の平均レーティング順)で堂々1位の英インターナショナルS(ヨーク競馬場、芝10⁰⁰88⁰⁰m=約2080m)は8月19日に行われ、オッズ51倍のアラビアンクイン(牝3歳、父ドバウイ)が、英ダービーなど5戦5勝で大本命のゴールデンホーンをクビ差抑えて優勝しました。2番手を進み、残り1⁰⁰で先頭に立って本命馬の猛追を振り切ったもの。これで11戦4勝、G1初勝利。勝利騎手S.デソーサ、調教師D.エルスワース。今季G1・3連勝のグレンイーグルスは稍重馬場のため回避しました。

●アーリントンミリオン(米G1)はザピッツァマンが優勝

第33回アーリントンミリオン(芝10⁰⁰m)は8月15日にアーリントン競馬場で争われ、4番人気のザピッツァマン(騾6歳、父イングリッシュチャンネル)が9番手の外から鋭く差し、連れて追い込むビッグブルーキトゥン(G1・3勝)をクビ差抑えてG1初勝利です。通算23戦15勝。勝利騎手F.ジェルー、調教師R.ブルッゲマン。